

⑨ アンケート共通事項・全体集計B(自由記述意見)

2-① 「9年間接続の一貫教育はよいと思う」

2-② 「小中学生の交流や合同行事はよいと思う」

2-③ 「小中学校の教員の協働はよいと思う」

2-④ 「小学校でも担任以外の先生や中学校の先生が教えるのはよいと思う」

2-⑤ 「3校同日の授業参観日や3校行事カレンダーはよいと思う」

2-⑥ 「宇治田原町について学ぶ学習はよいと思う」

2-⑦ 「小中一貫教育への自由記述」

2小学校保護者

○6年、3年という教育期間を9年間で見通すことによって、先生方に余裕が生まれてそれを子どもたちの指導に当てるなら、子どもたちの成長にとって良いことと思う。○教職員の交流による学力向上は良いと思う。○一貫にするなら同じ建物でないと一貫教育にならないと思う。○小学校の先生も中学校での学習を考えてきっちりと授業をしてもらえはす。基礎の大切さや(教師の)責任感を改めて感じてほしい。○小学校から中学校にスムーズに行けるような小中一貫教育にしてほしい。○学習面や生活面で途切れることなく次の学年に行けるので良い。

●維孝館中学校の印象が悪いと聞くので不安。●入学した小学校1年生が多感な中学生と一緒に過ごすのは驚かされないか心配。授業を抜け出しているような中学生を小学生に見せたくない。先生は一生懸命されていても家庭環境もいろいろある中、中学生ののような時期は心配な年齢である。●いじめが9年間続かないか心配。●何かのトラブルやいじめなどが怖い。●いずれ高校や大学へ進学し新しい選択の道を選ぶときに小中一貫教育だとさらに大きな壁になるのではないかと。守り過ぎては自分で新たな境地を拓く力が身に付かなくなると思う。●体育館の入り口でタバコを吸わないで。●中学校の先生がいきなり小学生に性格などを配慮した指導ができるのか疑問。●授業時間やクラブなどの活動に差があるので同じ建物、グラウンドを共有するのはどうかと思う。

▼進め方を問われても今の段階を子どもを通してしか分からないので、もっと具体的に分かりやすく説明してほしい。どんな意見をいうのが言いにくい。▼ただ単に校舎の老朽化だけで決めるのはどうかと思う。現在、中学校の先生に小学校で教えてもらっていることは子どもも喜んでいますが、2小学校が1つになるとどうなるのか。田原小、宇治田原小それぞれの良さがあり、一貫になるとどうなるのか。▼メリット、デメリットを教えてください。▼中学校の先生がぎりぎりなのか心配。小学生を教えることが可能なのか心配。中学校の方が大切だと思うので、先生を増やすなどの必要があると思う。特に中学校の学力向上を期待する。▼行事など全てが同時というのは無理がある。日程、時間等工夫してほしい。行事も大切だが学習にも小中一貫教育を生かしてほしい。今はそうならず「小中一貫」という言葉ばかりが一人歩きしているように思う。▼人口や少子化については出生人数から把握できたはず。もっと早くに検討すべきだったと思う。▼小学校低学年時は学級担任の指導が良いのではないかと。▼交流も大事だが小学生の間は一人の担任がしっかりと個人を見てほしい。▼他府県の小中一貫教育の事例のように無資格・無免許で指導することの無いよう徹底すること。▼保護者の意見を取り入れて少しずつ進めてほしい。▼小学校と中学校相互の交流の場を作ってほしい。▼小中一貫教育はとてもいいが、その前に町内の2小学校の連携をもっと強めた方がよいと思う。▼子どもたちが主人公、子どもにとってより良いものになるように。

▼学校公開を同じ日にしていただくのは仕事を持つ者等には有り難いが、小・中学校と分かっていると両方が同じ時間で移動に時間をとられて参観することができない。(4)▼共通カレンダーは良いが、同日参観は両方参加しにくい。(2)▼3校を同日公開にしても結局は我が子の学校に行くので日にちを変えてはどうか。▼3校の同日公開は子ども同士は見に行けないのに誰のために行うのか、意味が分からない。▼土曜日は休日にしてほしい。▼これらの内容が良いことであれば実施されているべきだが、案外、学校は閉鎖的なのか。

中学校 保護者	<p>●町内規模から言うと少し無理ではないかと思う。 ●意味があるとは思わない。 ●小中一貫教育についてのメリットがピンとこない。小中連携で今以上に協力し連携すれば良いのでは。 ●小学校低学年時に中2の男子に囲まれ脅された事があり、そのような年長者との関わりは不安。</p> <p>▼小・中学校間でメリハリのある進め方をしてほしい。 ▼形だけでなくもっと具体的にすべき。 ▼小学校同士の交流の場が少ない。林間や修学旅行の合同学習の中身は建前に過ぎているよう。宇治田原の子どもたちの学力状況をもっと真剣に考えて。 ▼子どもの減少の一つに、田原に住むと子どもの学力が低下すると言われる状況がある。小学校での毎日の宿題の習慣が中学校で崩れた。もっと小・中学校で宿題や勉強の仕方、テストのやり方・内容などを本当に連携した一貫教育を考えるべき。田原の学力向上に努めてほしい。 ▼中学校は高校に入る準備ができればと思う。 ▼システムを変えても教師のレベル向上など本質の改善がされなければ、経費等の無駄になるのでは。 ▼宇治田原町は閉鎖的な地域で子どもたちの視野が全体的に狭いように感じる。地域的に学校外で学ぶ場も少ないため、学校の放課後の時間をもっと有効的に学力向上の場に設けたら良いのでは。 ▼交流や先生が小・中学校を行き来し授業を行うのは良いが、建物は別々の方が良いと思う。 ▼無資格教員による指導が無いように。 ▼3校の行事カレンダーはとても役に立つが、同日の参観は小・中学校両方には行きにくいので別々にしてほしい。(2) ▼行事カレンダーは読みにくい。小・中学校で兄弟がなければ意味がない。</p>
保幼保 護者	<p>●同じ施設にした場合、グラウンドの十分な確保はできるのか疑問。 ●保護者の立場からすると家から近くて安全な場所が良いと思う。</p> <p>▼小中一貫校で学び卒業後、町から出た時に子どもたちが直面するギャップが気になる。 ▼1学級の児童生徒数が多すぎるのは良くないが、少ないのは良くないとは思わない。 ▼しっかりと議論し、オープンな議論が必要である。 ▼敷地や通学方法等難問が多く、見通しが分からず回答が難しい。 ▼1クラスの人気は少ない方が子どもにとってはいいと思うし、担任もゆとりが持てる。 ▼小・中学校を同じ場所にするにしても、校舎やグラウンドなどは別が良い。 ▼小学校は極端に減れば1校でも良いのでは。小・中学校は別にした方が良い。</p>
	<p>「児童生徒数面・施設面・経費面から賛成」 ○子どもの減少が確実な状況で、3校を一つにし充実した小中一貫教育が望ましい。 ○宇治田原町内の3校がまとまることは良いことにつながると思う。 ○施設の一体化を望む。町の将来への夢を叶えて学校を中心とした公共施設を集約できることを期待。 ○子どもたちにとって何が良いことかを第一に考えて進めてほしい。 ○経済的、合理性ではプラスと思う。 ○児童生徒数の減少と両小学校の校舎の大改修等が迫る中、施設一体型も一つの考え方である。 ○3校が一体となると広い場所が要るが、面接や参観等は便利になるし警備・防犯等の経費等は安くなるかも。 ○将来の子どもたちの減少を考えると良いと思う。 ○児童数の減少は止められない。そのための必要性、宇治田原町財政からも小中一貫にするべき。</p> <p>「教育内容面から賛成」 ○子どもたちのためにぜひ一貫教育にしてほしい。 ○町を挙げて進めて行けばよい。 ○(小中一貫教育を)早急に進めてほしい。 ○もっと進めてほしい。 ○9年間を見通した教育はぜひ行ってほしい。 ○一貫教育を進めるべき。 ○先ず山城地域で突出した特色ある「学園」にすること。 ○小学校と中学校が9年間を同じ方向性で教育を行うことは必要(2)。 ○施設一体型が良い(3)。中学生は小学生が近くにいることでいたわりの心が育つ(2)。 ○中学生が常に小学生の小さな存在を見守って上げることが良いことと思う。 ○上の人が下の人を見目が養える。 ○小中一貫教育は良いことと思うが、その前に小学校同士の横の連携をもっと強める方が必要。 ○お任せする。 ○(合同の)行事を企画し交流することは良いと思う。 ○少子化で兄弟など異年齢で関わるものが少なくなっている今、小中一貫教育で交流することは子どもが成長する上で良いこと。(2) ○人に対する思いやりを育むことが期待できる。 ○中学校から始まる教科の学習を早く(小学校)から始められるのでよい。 ○より多くの先生が見守ることは良いと思う。 ○私立校は以前から実施。公立校は遅れていたのでは。</p> <p>「宇治田原町の規模・歴史等から反対」 ●狭い地域で小中一貫教育にする意味が理解できない。 ●もともと中学校が一つの町内で一貫教育を進める必要があるか疑問。 ●町内で一つの学校よりもそれぞれの地域に小学校がある方が通学の面からも望ましい。</p>

「小学生・中学生の発達面等の違い等から反対」

●小・中学生の立場の違いがありすぎて不安。 ●中学生の道路歩行や自転車走行のマナーの悪い様子が小学生に早く身に付かないか心配。 ●小中一貫教育はあまりにも年齢差が大きすぎるのではない(2)。 ●7歳の子どもと15歳の少年境目を共存した形で学習させるのは無理で反対。 ●6歳と15歳の考え方や発達段階が全く同じとは思えない(2)。 ●体力、知力の違いがありすぎて無理があると思う。 ●季節のように小学生と中学生も人生の節目になっていると思う。 ●小学校6年間と中学校3年間の節目を子どもたちがどう考えるのか疑問に思う。 ●一貫教育の必要性を感じない。中1ギャップや高1ギャップはあって当然でそれで成長すると思う。 ●赤ちゃんから大人になるまでいろいろな段階を乗り越えて精神面等も成長するのであり、楽な方ばかりへ進めるのは良くない。 ●理解できない。する必要は無い。9年間同じ場所で学ぶより変化が大切と思う。 ●6歳の児童と15歳の青年を同じ行事や教育を行うには無理がある。人生の節目も必要で現行が良い。少ない人数でいいいな教育を。

「小学校と中学校の教育内容等の違い等から反対」

●小中一貫教育の意味・メリットが分からない(3)。 ●経費面もあるが小・中学校への変化に対応できることが必要。今後高校から社会への対応力となる。 ●小学校は小学生の教育が、中学校は中学生にするべき教育があると思う(2)。 ●小学校では幼い子どもなりの思いや体験をさせておくべきで、中学校ではランクの上の心構えや自覚をさせることが大切。 ●小学校から中学校への進学という機会を生徒本人に考えさせるべき。 ●そもそも小中一貫教育に反対。小学生、中学生はそれぞれらしく育てほしい。 ●同級生が同一の場で大勢で学ぶ方が大事。 ●学校の特色があっても良いのではない。 ●学年単位での明確な教育方針に基づいた指導が必要。 ●小中一貫にすれば教師間の競争がなくなり、教師が怠慢になりさらに偏差値が下がる。 ●小学校高学年は低学年への責任の自覚をする時期だし、中学校では学習やクラブに力を入れてほしい。 ●中高一貫教育なら良いと思うが。(3)小・中学校では違いすぎるのではない。 ●子どもたちが慣れすぎて学校生活がマンネリ化するのではと不安。 ●合同にするのは教師が大変そうだし上級生が下級生をいじめそう。

「予算・施設・通学手段・今後の一貫教育の進め方等教育行政に関しての意見」

▼施設を一つにするなら特に子どもたちの通学の負担と安全面について考えてほしい。(7)スクールバス等を走らせれば良いと思う。 ▼町予算削減の観点から、校舎の新築及びバス運行等、より有効な1, 2, 3次案を示す必要がある。 ▼財政面での違いや小中一貫教育にした場合の通学や安全面の情報開示を。 ▼施設一体型でない状況下で形式的にやっても無駄。 ▼何を進めるにしても、子どもたちのことを第一に考え工夫してほしい(2)。 ▼宇治田原の人口を増すことを考える方がよい。 ▼少子化を止め子どもを産み育てやすい環境づくりが先と思う。 ▼学園構想を具現化するなら施設一体型でないと従来と変わりはないと思う。 ▼伝統と地域性を考え、十分な配慮を願う。 ▼住民の意見を聞くのも良いが、トップダウンで進めても良い。 ▼経費削減の為だけなら反対。 ▼進めるプロセスをできるだけ一般住民にアナウンスしてほしい。 ▼宇治田原の目ではなくもっと広い目で。 ▼アンケート内容は公表を(2)。(回収率や年齢層別の内容も) ▼このアンケートの○×では、とる側の意向に沿った結果になりやすい。 ▼全ての項目が賛成に誘導されているようで答えない。 ▼どの様な小中一貫教育を考えているのか叩き台が無ければ何とも言えない。 ▼宇治田原にとって一貫教育が本当に子どものためになるのか、度議論が必要。 ▼どう進むのか良い面、悪い面が分からない。 ▼本当に子どものことを考えて進めようとしているのか疑問。成果はどこで判断するのか。 ▼どうして小中一貫教育なのか理解できない。 ▼「学園構想」「一貫教育」など住民には周知されていないことがあり、地域説明会などで委員会が発信すべき。 ▼小中一貫教育はまだ時期尚早ではないかと思う。 ▼施設統合にする場合のメリット、デメリットを十分に検討すべき。 ▼地域に根ざす教員の育成。教員ホームの建設。 ▼具体的に何がどう良くなるのか示してほしい。 ▼小中一貫教育のメリットデメリット、目標を地域住民に示して検討すべき(4)。 ▼急がずに住民の意見を聞く場を設けるべき。 ▼維孝館中学校の名称は絶対残すこと。維孝学園等は絶対反対。 ▼学校教育の活性化には、保護者の意識改革が必要。そのための研修を行うべき。 ▼将来の推計生徒数を考慮して考えること。 ▼具体的な取組や方針を分かりやすく示して(2)。

地域住

▼新しい教育方法が効果的か疑問。子どもたちに負担もかかり費用も多額になる。流れでやることではない。▼子どもたちにやる気を持たせ夢と希望に向かって進む気持ちや日本の良さを知らせ国を愛する心を育ててほしい。▼教育は個々の可能性を最大に引き出すこと。9年間を井の中の蛙状態と考えるのか集中的学力向上期間とするのか考えて。▼中学校に入ると2小学校のカラーの違いを感じることもある。小・中学校の交流も必要だが小学校同士の交流がもっとあっても良い。▼他の市町が行っているからでは駄目。先ず、町教委のやる気を。▼10年50年先を見定めつつ慎重に議論を。▼中高一貫なら理解できるが小中一貫はどうか。良くない行動も見える多感な中学生と基礎を学ぶ小学生を一緒にするとそれも当たり前のように覚えてしまうような気がする。▼未来の宝を厳しくまた、優しく教育まなくてはならない。その方向で施策の推進が必要。▼小・中・高の一貫教育が必要。ぜひ宇治田原町に高校を。▼今の中学校の校風、指導の方法を直さないと新しいことにつながらないと思う。▼保護者、町行政、町議会、町職員がしっかりしないと町民、教職員はついては行かないと思う。▼ディメリットもあるはず。ディメリット、メリットをもう少し具体的に例を挙げて説明してほしい。非公開すぎる。

「一貫教育の方法や教育内容等についての意見」

▼何のために一貫教育に力を入れるのか目的が明確でないと予算の無駄となるのでは。▼小中、小中の教職員同士が方針を統一して連携できるのか心配(2)。▼小・中学校教員の研究交流は良い効果があると思うが、小・中学生が交流や合同行事をするのは発達面から無理があり形式的になっていないか。小学校同士の連携は効果的な面があると思うが、学校の特色がなくなり逆効果ではないか。▼子どもたちも先生も交流を増やして(2)。▼両刃の剣。つなぐのは良いが学校の独自性が薄れ息苦しくなる危惧がある。教育課程の編成権が学校にあるのは重要な意味がある。▼もたれ合いでなく教師一人一人が責任感を持って進めてほしい。▼3校が研究をともにし交流しあえる組織体制があれば施設の形は関係ない。今の距離でも可能。▼6年生が中学校に馴染むのは良いが、1年生には年齢差がありすぎるので疑問。▼一貫教育を優先して小・中学校それぞれの特徴や独自の活動がおろそかになることが心配。▼中学生が小学生にかかわる授業をするべき(2)。▼一人一人の個性を伸ばす工夫を。▼小学校低学年では一人の教師の方が良い。▼市内等他地域の教育レベルと合わす必要がある。▼宇治田原町の小・中学生の学力向上という点を重視してほしい。▼他都市を参考に。▼子どもたちがだらけそう。馴れ合いにならぬよう小・中学校間のメリハリがある進め方を願う。▼良い考えと思うが、多くの方面から検討してほしい。

▼中学校進学への不安解消からの一貫教育は良くない。新しい生活に飛び込む経験は必要。▼小中一貫もいいが、中学校に行くときの緊張感も必要と思う。▼中学校への進学不安の解消が最大の狙いとあるが、それを無くすのが小学校教育の原点であると思う。▼クラブ活動等はどうか。▼小学校での友達関係がそのままとなりやすく、孤立化した子への配慮が必要。▼教員、保護者、その他関係機関の理解と協力体制が重要。▼3校同日公開日は兄弟が小・中学校に居る場合は参観しにくくなる。日や時間を変えてほしい(7)。▼小中一貫教育の具体的な提示や定義が無いので判断しにくい。▼勉強も大切だが先ずは挨拶ができる子どもたちに育ててほしい。▼長所・短所を整理して行うべき。▼中学生が良いことを教えるならメリットだが、良くないこともあると思うので別々が良い。

▼中3と小1では年齢が離れすぎで怖い。基本は区別して交流時はメリハリをつけてほしい。▼人間性教育の欠如がいじめの一因。あいさつや上の子どもが下級生の面倒を見るような教育を。▼いじめや上下関係が心配(3)。▼いじめの問題が長く続かないか心配。(3)新しい生活を始めるチャンスが一つ減少する。▼子どもたちが主人公だが先生方が疲れ切ってしまうようなシステムは？が付く。▼小学生が中学校の先生に習う場合、混乱しないように。▼先生の服装も子どもたちへの指導に関係するのでは。▼小中一貫教育の最大の狙いは「中1ギャップ解消」とあるが、「心・学・身」を育てる「学校らしい学校、子どもらしい子どもが育つ学校」への環境づくりが大切。▼既に小中一貫教育を行っている学校の先生や保護者に良い点と課題点を聞いて参考にして話し合っ進めるべき。▼現在モデル校としての旧宇治小が行っている小中一貫教育の内容を参考にしてはどうか。▼クラス替えはぜひ必要。▼先ず学校教職員が一貫教育の指導方針を確立し、保護者や地域社会に明確な行動を示してほしい。▼先生に昔のような厳しさを求めたい。▼先生方にも地域に入って地域行事や活動に積極的に取り組んでほしい。▼一貫教育の狙いが人数減少対策か子どもたちの未来像を実現したいのかははっきりさせていくべき。▼子どもたちはみな能力に差があるのできめ細かい教育を願いたい。▼伝統のある自分の学校に誇りの持てる人間形成を。▼目標へのチャレンジ精神とあきらめない意志を養う教育を家庭と学校双方で。

▼都会のマンモス校ではできない温かいコンパクトな教育をしてほしい。▼自虐史観でない正しい歴史教育を。道徳も自国の歴史上の偉人で。▼学校教育は教師の指導力が一番重要。施設は築後17, 20年と新しく小規模改修で十分。▼小・中学生の意見も聞いても良いのでは。▼社会に出てからの上下関係等人の接し方やコミュニケーションの能力向上に交流を持つことは良いと思う。▼小学生にはいいと思うが、中学生の授業が手薄にならないように。▼担任外の指導は小学生にはどうかと思う。▼勉強がスムーズに流れていくように5, 6年から各教科担当にするのが良い(2)。▼目上や先生に対しての言葉遣いや正しい礼儀等を指導してほしい。

▼交流や合同行事をするだけでは一貫教育の意味がない。小中を貫く統合された哲学が問われる。▼小・中の交流は良いが小・小の交流は意味が無い。▼現在のような小手先の小中一貫教育は意味がない。▼子どもや教職員の交流が良いが9年間をずらずと送るのは問題。▼子どもたちの成績もさることながら先生達の資質もどうなのか。▼大人の都合でなく子どもたちが生き生きと楽しく学んで行けるよう考えて進めてほしい。▼生徒の性格や友人関係など小学校から中学校にきちんと引き継ぎ、いじめなどが継続されないようにしてほしい。また、互いの学校を行き来し気づかなかった点を言い合える関係を築いていってほしい。▼子どもたちにとって何が良いことなのかを第一に考えて進めてほしい(2)。▼教育理念と方針の確立が必要。▼箱物+管理コストを第1に考えているようだが第1に教育方針であり先生・生徒である人を中心にすべき。▼教師への負担増は疑問。▼小学校高学年には担任以外の指導も良いと思う。地域の指導者は内容や話し方にもよると思う。▼地域活動、老人との交流、ボランティア活動とは何かという勉強も必要。▼小中一貫教育は非常に素晴らしい計画だと思うが、その過程で各々の学校の良さを失うのは避けてほしい。▼規模を生かした各学校で一人一人の子どもに目を向けたきめ細かな教育の充実が先決。▼少子化の時代、年長生と年少生との交流があるといじめ問題も少なくなるのではないか。▼いじめ等で年少者を保護する心を持つ人間性の育成。▼教職員の数が多すぎて派閥ができないか。▼まずは学力充実が大切。▼それぞれの才能に応じた教育が必要。

▼指導者側が小中一貫教育をどう思いどう進めていくのか一致して行くことが重要。やり方次第で子どもたちにとって良くも悪くもなる。▼登下校の安全指導の徹底を。▼小中一貫教育のねらいが弱い。必要性や不安や戸惑いの対象者の率や影響も見えない。▼何故小中一貫教育が良いのかという本質的な議論がされていない中での判断はできない。▼分離型か一体型かのどちらを想定しての小中一貫教育なのか不明であり回答しにくく、アンケートの意味が無い。▼昔は子どもたちに縦のつながりがあったが今の時代は勉強、道徳的に良いことであればいいが悪い方向に行けば末恐ろしい。先生方の指導にしっかりした気持ちを持ってほしい。

▼小学校に影響を与えるので中学校の現状の改善が先決。指導力のある教職員がもっと必要で教職員人事にも力を。▼9年間の児童生徒発達・指導の目標があいまいで担任教員頼みになっている。人数が少ないからとか中1ギャップの点から合併、一貫にするというのではなく、上下関係で学び合う縦のつながりや、小・中学校教職員相互の学び合いで相互研修を行うためにも必要。また、親の子育てについての啓発も重要。▼教育施設や児童生徒の交流よりも小・中学校教師側の意識・理解・教育方法の方が重要。▼合同でするメリットとともにデメリットもあるはず。一緒にすれば全て良いというのではなく、目的や時間を共有するだけなら意味がないし、競わせる機会も必要。また、⑥のように3校が同一スケジュールを行うことは、兄弟関係のある家庭では個々の子どもへの関わりが少なくなってしまう。▼小中一貫教育は「ゆとり教育」以来の大失態となると思う。

○多忙時に会議があると辛いが意義は大いにあると思う。○良いことであるので積極的に進めるべき。

●小・中学校の教職員が交流する機会を多く持ち、一貫教育に向けて共通理解したい。●服装のだらしなさや思春期の反抗を(小学生に?)見せるべきでない。●小・中のある程度のギャップは成長に必要なこともあるのでは。

教職員

▼教職員の交流は大切だが、そのことが何故小中一貫の学校を作るのにつながるのか不明。中1ギャップと一言で片づけすぎである。▼メリット、デメリットがあるので一概に○を付けることができない。進め方についてもメリットとデメリットをしっかりと確認することが必要。▼発達に応じた人間関係作りやそれぞれの学校の特徴も大切にしながら進めてほしい。▼9年間を見通して教育を行うことは良いと思うが、それぞれの教師の良さをもっと生かしてもいいと思う。▼形だけでなく中身を慎重に考え、子どもたちの顔を浮かべながら進めていきたい。▼3校同時や合同にこだわりすぎると、大人の都合に目が行きすぎて子どもをほったらかしになることがある。▼学校公開の同日開催は果たして良いものかと思う。(保護者の立場として)▼教職員の負担にならぬよう。

3 小中一貫教育に期待する成果										別表
	1 学力向上	2 学ぶ意欲	3 個性伸長	4 社会的資質能力態度	5 生きる力	6 地域愛や貢献	7 人間性、道徳等	8 個に応じた指導	9 教職員の指導力	10 三者連携
3-⑪「その他の期待する成果」										
小保護者	<p>▼特に中学校の教職員の資質と指導力の向上を期待する。▼一貫校にするには、子どもの(教育の?)方向性は学校が決めてそれに従うという形がよいのでは。▼いじめがあるのは仕方ないが、それをどう防ぐのか等、相談しやすい学校作りを。▼給食調理室を各学校に作ってほしい。▼9年間の一貫教育を終えたときに、笑って旅立てるような学校生活を願う。▼田舎はレベルが低いと言われるのは嫌。せめて京都市内ぐらいにレベルを上げてほしい。▼少子化で兄弟のいない子どもたちに、年上を尊敬したり年下の面倒を見たりするような上下関係を学んでほしい。▼中学生が小学生と共同生活をする中で、年上としての自覚を持ち、いじめなどの問題が馬鹿らしいことに気づいてほしい。▼成果よりいじめなどの弊害が心配。▼メリット面だけの質問だがデメリット面も示してほしい。▼非行に走らぬ生活指導を。</p>									
中保護者	<p>▼3つ以内には絞れない。▼学校が親子ともに信用できる場所になってほしい。良い情報も悪い情報も公開してほしい。▼宇治田原町(中学校)の学力レベルは町外に出ると概ね低い。建物だけでなく中身の充実を切に願う。▼中学校卒業時のことも視野に入れ、教育段階の区切りの成長や新しい環境への対応力などの低下にならぬよう宇治田原町独自の「一貫教育理念」を築くことが重要。▼文武両立。▼小中一貫教育は不要。地域にこだわらずもっと幅広い豊かな人間性の育成を。▼地域の方々にそれぞれ専門分野の指導をしてもらおうと良い。沢山の関わりを持つことは子どもたちの非行防止にもつながると思う。▼維孝館中学校が良い教育環境になること。町の教育レベルのアップ。▼いじめや悪戯など人を傷つけることのないような環境や人間を作してほしい。</p>									
保幼保護者	<p>▼熱血先生が減ったように思う。▼7歳から12歳の小学生が側にいることで中学生のいじめが無くなる気がするが、もしかしたら弱者へのいじめが見えたときはマイナスと思う。やってみないと分からないことがたくさんあると思う。▼子どもたちの目線での教育を期待。</p>									
	<p>▼学力向上。▼高校進学時にいろいろ選択できるだけの学力をつけてほしい。▼学力充実・向上を図ることで高校、大学の有名校への進学に結び付くと良い。▼子どもの持っている力を伸ばす教育。▼より多くの大人(教職員)が見ることでいじめの早期発見や才能の発掘ができるはず。▼いじめの減少(3)。いじめの無い学校作り。(2)▼一人の子どもの様子を長くゆくりと見守ることができる。▼小・中学校立場の違う先生により多様なアプローチが可能になり、新しい教育効果が生まれる期待。▼小中一貫教育でないといけないことか。小中一貫教育は良いことばかりで弊害は無いのか。▼小中一貫によって高1ギャップが大きくなるか心配。9年間ぬるま湯で育てないように願う。▼教職員の資質向上が期待できる。▼先生の質の向上と子どもたちの個性を伸ばす教育。▼小中一貫というより教職員の資質向上を。小学校では2年間持ちあがる担任を、中学校では勉強や部活を専門的に教えられる教員が必要。▼助け合っで成長する子どもたちの育成。▼上級生が下級生を思いやる気持ち、下級生が上級生を慕い行動を学ぶ等、生徒各人が9年間各々の立場を理解し、まとまりを作ることの大切さを学ぶこと。▼下級生に対する思いやりの心や責任感(4)。▼中学生が小学1年生の給食を手伝うとかすると良い。▼異学年交流は児童生徒の人としての成長があると思う(2)。▼家庭で育つべき事で身に付いていない、他人に対する思いやりの心(3)や協力し合う喜び、達成感など。▼教育委員会のリーダーシップ性の発揮。▼交流活動の充実。▼恐れずにどんどんやってほしい。▼2小学校から町内の中学校に進学する子どもの数が減らないような教育を。</p> <p>▼人格的情操教育の推進。▼目上の人を敬い、年下やお年寄りに優しく接する心を持ってほしい。▼競争でなく(人が)つながる教育を。▼教育委員会や教職員の高い意識と指導力の向上が無ければハード面のみでは成果は期待できない。▼自分の力を生かせる人間性と生きる力の育成。▼目上や先生への言葉遣いや敬語の指導(2)。▼小学校の間は体力と生きる力を身に付けるため外遊びや宇治田原町らしい校外学習や体験等を期待。▼愛国心や道徳心。▼道徳性(心)の向上(4)。▼小・中一体型教育で道徳が必要。▼各家庭を含めた家庭・地域での道徳教育の強化。▼人の命の大切さや子どもたち一人一人の個性を大切にしたい指導。▼地域も関わって礼儀作法の教育を。▼礼儀作法、言葉遣い、正しい日本語の徹底に期待。▼⑩「学・家・社一体となった教育環境づくり」以外は期待しにくい。</p>									

地域住民

▼教員の資質、指導力の向上第一(3)。▼教職員自身の研修を行いレベルを上げないと国内的にも対外的にも子どもたちの将来に不安が残る。▼新しい目標が学校と一般住民との交流拡大にもつながる。▼低学年からの生徒指導面の充実。▼未来の宇治田原の子ども一人でも多くの笑顔が見られるような町にしてほしいし人口が減ってほしくない。本当は全てに〇がほしい。▼自分の経験からして長所を伸ばす教育を。▼良き先生、良き大人との出会いが大切。▼誤ったルールが9年間続くと子どもも親も立ち直れない。一貫教育は高・大だけで十分。良いところは少ない。▼楽しい学校作りとあいさつのできる子どもたち。▼全ての子どもの個性を引き出す指導。▼小・中学校互いの校内施設の共用。▼学校現場の多忙化と混乱を招くことの無いように。▼大勢とは少し異なる個性を持つ子どもたちへの指導・支援。▼クラスが固定化になると長期的な指導ができる反面、差別化が生じるのではないか。▼子どもたちが社会や地域の中で生まれ生かされていることをより深く感じたり、道徳心や倫理性、協調性が育てば良いと思う。▼一貫教育でないと期待できないというのが分からない(6)。▼教師の今より少し厳しい指導。▼学力向上、地域に貢献できる力の育成。▼学習や生活について行けない子へのフォローを。▼一貫教育の利点が分からない、期待できない(2)。逆効果。▼地域共通の教育が必要。▼土曜も学校があると良い。▼文部科学省が9年間の教育課程を全国统一しないとマイナスではないか。▼教職員・児童生徒の取組姿勢が何より大切。安易に導入すると現場に▼教職員と保護者がかみつき身近になってほしい。▼子どもたちは生まれながらにその子なりの能力を持っている。叩いたりしめたりしてまで引張ることはないと思う。▼小学生には社会や学問への広い興味を、中学生には自覚を持って努力する人間の力を身に付けてほしい。▼アンケート結果にかかわらず作為的に推し進めようとしているのではないか。▼解き方は別として、記憶力を競う勉強でなく子ども自身が物事を考えるという教育を希望。▼小・中学校ギャップのない指導を学校に期待。▼教職員間の刺激、意識改革に期待。▼教員数の削減や施設面の充実と経費削減が図れるのではないか。▼グローバルな人材はX。(原文のまま)▼教師の資質次第、また、家庭環境次第。宇治田原では負の影響が大きい。

▼一生つきあえる親友という財産の獲得。▼問われる項目は一体的に考えるもので別々には選べない。特に⑥については人材の育成というより人格の育成というべき。▼全てを進める側がどう進めるかによって両刃の剣である。▼学習面とスポーツ面でそれぞれ活動テーマを設け小中一貫教育で向上する。例えば漢字とマラソン、数学と縄跳びなど。宇治田原の小・中学生は全員がそれに集中努力して、漢検〇%、マラソンの平均タイム全国平均〇%上回るなどをを目指す。これらを通じた一体感、達成感を楽しみながらあきらめずにがんばる気持ちと力を育むと良い。▼せっかく自然に恵まれた宇治田原、大人になっても心に残る、小・中学生の間にしかできないような経験をさせてあげて。▼生徒数にかかわらず教職員の資質によるところが大きい。▼時代なのか全ての人自分さえ良ければと、秩序を守らずモラルの無い行動が目につく。狭い町だからこそ節度を保って大人も子どもも派閥や分け隔て無くもつと品のある町になればと願う。都会には無いような心の豊かさを学べるような教育を期待する。▼小中一貫教育は小から中への戸惑いや不安を解消するためとあるが、それらを感じつつ子どもたちは中学生の自覚を育て成長するのではないか。子どもとともに親も悩み考え、他の人に相談し地域も重要なその力となっていく。箱物だけがしっかりしても人のつながりがなければ意味がない。子ども、先生、親のそれぞれが信頼、尊敬できる関係を。▼大規模改修にお金がかかるという発想がおかしい。施設一体型が本当に可能なのか。この程度のアンケートで一体型一貫教育を進めないでほしい。宇治市とは違う宇治田原町では分離型で考えるべき。いつ決定するのか、今後のスケジュールはどうなのか。▼いつの時代も人に言われて学ぶより家庭で自ら学ぶべき。多くの地域の方と知り合い知識を広めていくことが大切。▼家庭教育を期待するならPTAとともに住民とともに学ぶ機会を。

▼保護者の信頼を得られる子どもにも親にも一目置かれる先生を期待。個々の長所を引き上げる教育を。▼小・中・高の一貫教育で人間性教育を。▼教育委員会が主体性を持ってやってほしい。▼施設一体なのか、児童生徒の交流程度なのかなど、どのような小中一貫教育を進めるか提示されていないので答えられない。▼小中一貫教育などと言って「みんな仲良くゴールイン」でなく、高校受験で泣かぬよう厳しい競争で山城1番の学校に。▼町としての一貫教育の方針が確かでない中で何を期待していいのかわからない。①～⑧に関しては教職員と親の間で大きく、そのことによるとも言えるのではないか。一貫教育に関係なく教育者としてどう子どもたちに接し導いていくかだと思う。▼希望しない、期待しない(2)。

教職員

▼助け合って成長していこうという気持ち。▼上記のことは一貫教育とは関係ないと思う。▼音楽的な交流や文化的なイベントの交流で音楽性や文化性が高まる。▼小・中学校教員の見解の違いが分かるようになる。小学校のやり方が悪いから中学校で尻ぬぐいをしなければという考え方は無くなるのでは。

4-①	「学級や学校の児童生徒数は教育内容と関係はない」
4-②	「学級や学校の児童生徒数は多すぎても少なすぎてもよくない」
4-③	「今後子どもが減っても小学校は2つのままの方がよい」
4-④	「今後小学校の子どもの数が減れば2小学校を1つにした方がよい」
4-⑤	「2小学校を1つにする場合も中学校は別にした方がよい」
4-⑥	「2小学校を1つにする場合には中学校と同一場所にした方がよい」
4-⑦	「2小合併、2小分離、3校一体型等についての自由記述」
小保 護者	<p>▼立地的に難しいかもしれないが、小・中学校で行事をするとき、集まりや移動もし易く良いと思う。町の体育館や図書館、運動場も使い易く、春には桜並木を眺めながら登校する9年間は、大人になっても宇治田原町の事を心に刻んでくれると思う。▼保育園が一緒だから子どもたちは一緒がいいのでは。</p> <p>▼1学級だと組替えが無くいじめなどの場合、逃げ道が無くなり良くない。中学生と小学生が一緒になるのは良い面があるが、中学生が荒れている場合は小学生に影響しそうで怖い。▼小学生の子どもたちは先輩の影響を受けやすいと思うので一緒に校舎にするのはどうか。▼1小学校→1中学校では環境が変わりばえせず良くない。▼一つの小学校になった場合、小学校のいじめが中学校でも続く場合がある。▼先生の目の届く人数のクラスだと子どもたちにも良い環境だと思う。▼1学級の人数が多いと教育が行き届かないと思う。▼9年間同じ場所となるとその状態を楽しめる子どもと苦痛になる子どもが出るのでは。▼小学校の合併や中学校と小学校が同じ場所は反対。別々がいい。▼9年間、同一校舎は望ましくない。▼子どもたちの数の少ないことを生かした教育を。▼小学校を1つにしてしまうと社会性が今よりも狭く小さくなると思う。小さいこの町でも別の小学校という存在が、子どもたちにとって大きな社会には、別の学校生活や行動をしている人達がいるという認識はとてもいい刺激になると思う。今後社会を作り上げていく子どもたちにとって2つ以上ある方が良くと思う。▼小中一貫教育は良いと思うが学園にするのは良くない。小学生と中学生が同じ校舎で学ぶのは良くないと思う。</p> <p>▼1小学校にする場合、自転車通学の認定やスクールバス、通学を見守る大人の人員確保が必要。同一場所だと、2小学校間の通学の時間や不便の不公平は無くなる。▼2小学校合併の場合、通学方法は？、スクールバスが必要では(4)。▼通学時間や不便など今でも問題があると思うので、十分に意見を公表して話し合いを。▼1小学校にする場合は福祉バスなど無料のスクールバスを使わせてほしい。(2)▼2小学校を維孝館中と同じ場所にしたときは遠くなりスクールバスが必要。小学1年生に自転車通学は無理。▼子どもたちの数が少なくなれば同じ場所に小・中学校があってもよい。スクールバスがあれば問題ない。▼一体型になる場合、国の予算のみでできるのか。町の財政、住民からの税金を充当する場合は答えが変わる。通学無料バスなど出るのか。現実にはできる環境を教えて議論すべき。▼通学はスクールバスか自転車になるのか。歩かなくなったら田舎なのに体力のない子どもたちに成りそう。▼児童数が減っても通学が大変なので違う場所に2つある今の方が良い。また、小学校から中学校卒業まで同じ校舎では、メリハリがなくなりそうに思う。▼児童数だけを考えれば1小学校にした方が良いが、通学を考えると歩いて行けない距離に学校があるのは良くない。同一場所では進学と言うより進級した感じしかないので中学生としての自覚が見えないと思う。隣同士ぐらいの距離感が良い。▼合併した場合、遠方の子の通学手段はどうなるのか。通学バス、自転車、送迎？(7)▼合併で通学バス利用(遠方は必要)となると、子どもたちの体力低下が心配。▼1小学校や中学校との合併をする場合、通学について親の負担が増えることの無いようにしてほしい。▼子どもたちの通学が大変になるので合併には反対。▼町内は広い。通学の安全から今のまま2小1中が望ましい。▼場所については行事や駐車場、子どもたちの通学環境などいろいろと考えねばならぬ。</p> <p>▼ここで生まれ育った方には小学校が無くなることを希望する人ばかりではないと思うが、宇治田原町の未来を担う子どもたちにとって一番良い環境づくりを考えてほしいと思う。▼子どもの増える学校を作してほしい。▼学校の耐久年数はそんなに短いのか。最初から短期に改修を考えられているのか。▼合併や「学園構想」ありきのアンケートのように思う。▼意味の分かりにくいアンケート。▼どちらでも良いので学力向上を重視してほしい。▼1小学校にして設備・経費を削減し高校への交通費を全額支給すべき。▼子どもたちと高齢者の利用施設を同じ施設にすると良い。▼多すぎるのは良くないが少なすぎてもその良さがあると思う。▼子どもの意見としては、少ない人数よりも多くの友達と一緒によいということ。子どもたちにアンケートは取るのか。▼町としての意見が出ていないので、分からない部分の方が多い。▼小学校を1つにしたとき今まで歌ってきた校歌が歌われなくなるのはすごく残念。何か方法を考えてほしい。</p>

	<p>▼既に小中一貫校にしているところの問題点等をよく調べて参考にしてほしい。▼小学校の統合は望ましいが体格差などから中学校とは別の方が良いのでは。▼小学校と中学校を同じ敷地内に作っても校舎は分けた方が良く思う。▼子どもたちの人数が少ないことは逆にメリット面を考えるべきで小・中学校合併でも抵抗は無い。▼施設一体型の小中一貫校は地理的な問題が大きい。この協議会自体「一貫校ありき」で「設立委員会」のよう。アンケートもメリット面だけでなくデメリットも提示してほしい。行っている小中一貫校で「良かった」の報告はあるのか、数値を含めて示してほしい。▼高学年だけでなく低学年のうちから2小学校が交流できる場を1年に1回でも持ってほしい。中学校のクラス替えの不安も減るのではないかと。▼教育を充実させて町外にアピールできる特色を出すことで子どもたちの人数を増やす努力も必要。</p>
<p>中保護者</p>	<p>▼中学校での体験や悩みについて、今まで関わりのあった小学校の先生が近くで聞いてもらえるのは子どもたちにとって精神的に良いフォローができる。財政面で一緒に無理なら校舎は離れていても子どもたちに小・中学校両方の先生が関わる意識があれば良いと思う。 ▼力の強い中学生の中に良くない影響を与える人がいるかと不安。▼「学園構想」は反対。今のままで良い。▼小学校と中学校は分けた方が良く。▼別々の場所で学ぶのなら今までと変わらず一貫教育と言えないのではないかと。▼今の現状で小中一貫の意味は無いのでは。何より先生方が生かし切れていないと思う。▼小・中学校を同じ場所にすると通学が困難になるのではないかと。小学生の負担が増える。(2)▼人数に応じた教育の質の確保(手厚い方向だけでなく大勢の中で学ぶ視点も配慮)が指導者側に求めたい。▼町のお金が無駄にならぬようよく考えてほしい。▼クラスも少人数制の方が目が行き届き良いと思う。英・数だけでなく理・国・社も願いたい。▼無駄なお金を使わず会議を減らしてもっと質の良い教育を。▼他校のデータや資料なども参考資料にほしい。自由記述欄も小さく本当に保護者の意見を取り入れたいのか疑問。 ▼9年間の見通しを持った学習指導は良いが、9年の人間関係が良い子はいいがそうでない子にとっては厳しい環境になる。(中学校進学による新しい環境、心機一転の機会が奪われるのでは。)▼小学校は20人クラスであったし中学校でもそうしてほしい。▼まずは日々の安定した教育の確立・推進を。▼勉強の遅れている子どもたちのフォローをもっとしてほしい。▼中学生が落ち着いている場合は同じ方が良く、悪い場合は困る。</p>
<p>保幼保護者</p>	<p>▼できるだけ早期に実現してほしい。(施設一体型を) ▼小学校の通学は体力作りのためにも歩かせたい。歩いていける距離にある今の学校が理想。 ▼何も問題がなければよいが、いじめなどがあれば9年間同じというのは苦しいことと思う。▼小学校を合併した場合、学校が遠くなる。通学バスなどの確保はあるのか(6)。▼プラス面もたくさんあると思うが中学生が部活をするのに下校した小学生が校庭で遊ぶことが制限されると思う。生活時間のリズムが違うので難しい面がある。学童の子もいるし運動場はどうするのか。小・中学校の子がいる者は同じ場所でもいいかも知れないが、いろいろな方向から見つめて決定する必要がある。▼中学校と小学校は場所も校舎も別々にする方が良く。▼思春期を前に新しい人と出会い新しい環境の中で居場所を作り、人間関係を形成していくのが良いと思うので、2小学校を残し中学校で一つになる方が良く。▼クラス人数が減っても2クラス制が良い。▼プリントを読んだだけではピンとこない。今後学校などでもこれからのことを話し合う場を増やしてみんなで考えるべき問題と思う。</p>
	<p>▼宇治田原町が目指す未来創成として学校らしい学校を創り存続させるべき。▼将来性を考えると3校の合併は大変良い。▼人口減少の中では小学校を1校にすべきだと思う(2)。▼合併するならできるだけ早期に実行すべき。▼小中一貫教育を進めるなら小・中施設一体型の一貫教育を(3)。▼校舎も新しく立地も中間なので維孝館中に3校一体にするのが望ましい。▼長所・短所は必ず出てくるので統合するなら同じ場所でもいいはず。▼同じ場所にあると一貫・一体教育の意味がある(2)。それぞれ伝統ある校舎とはいえ改修で行うなら同じ場所。▼現場(学校)が混乱しなければ、住人としては1カ所にまとまっている方が分かりやすい。▼2小学校を一つにして町内中央に(5)。住民グラウンドの場所に設置(2)。2つの小学校の土地を少年や大人のグラウンドに。▼中学校の場所が両小学校の中間に位置するので丁度良いのではないかと(2)。給食の配給も一本化できる。▼中学校中心に考えれば(町の)良い文化の中心になる。▼町営の体育館や図書館、コミュニティーバス等を利用する事も含めて検討を。▼財政的には小中一貫校、子どもたちの事を考えるなら小・中学校は別にすべきと思う。▼子どもたちのために一貫教育はぜひ必要だと思う。▼2つの小学校に中学校併設か、逆に中学校に2つの小学校を集約するか。最終は住民負担の経費の無駄カットを。▼9年間同じ場所、校舎で学ぶより別の場所にして変化をつけた方が良いのではないかと(2)。▼小学校は今のままの2つにしてほしい(2)。▼学校の数を減らすのは良くない。▼小・中学校を一緒にする意味が分からない。▼明治より続いた教育には必然性あり。無理にくっつける必要はない。</p>

▼小中一貫教育は子どもたちの学力向上のためではないのか。人口減少に伴うものなのか。
▼子どもたちの減少、校舎のことで小中一貫教育は別のこと(2)。それぞれに検討してどちらも言うことになれば、一つにして進めればよい。▼施設を一つにするのはもっと人数が減少してからでよいのでは。▼子どもが減ることが分かっている大きい建物を造ると後に空き教室が増えて活用が困難。▼伝統・歴史といろいろあるが、この話が先に出ると困ると思う。▼小中連携は良いが小・中学校3つを同じ敷地にすべきではない。通学も不便、いじめも9年間続きそうで大変。2小学校から1つの中学校で新たに出会うことで新鮮みがある。(維中卒業生)▼子どもたちが増える方法を考えてはどうか。▼宇治田原町の財政から小学校は1つで良い。(遠い近いは別問題)

▼児童数が多すぎるのはそんなに問題ではないが、少なすぎると学力低下等の問題がありそうに思う。▼クラスの人数が少なくなればより密度の高い授業になる(2)。(教師と親の資質によるが)▼(小学校を一つにする場合、)宇治田原町は地域的に広範囲。安全も含めて通学面が問題。スクールバス等の手だてが必要(26)。▼小・中学校同じ場所にするのは良いと思うが、特に小学生の通学のことが心配(2)。▼奥山田小学校は廃校になった事を踏まえ合併を迷うことはない。地域で通学の不便を解消する案があれば良い。▼小学校を一つにして中学校と一緒にする場合、小学生は現在の自転車通学圏は安全のためスクールバスを出してほしい。(できれば中学生女子も。)冬などは早くから真っ暗。三重県のような事件が起きてからでは遅いので早急な対応を。福祉バスなどの活用をぜひ検討して。▼1学級が20人以下になれば、登下校の問題はあるが合併した方がよいと思う。▼通学が大変になるので1小学校にするのは無理では(7)。かつては1学年1学級は当たり前だった。▼長距離の通学は厳しい。安全な通学方法や保護者用の駐車場の確保があれば合併も良い。▼通学に不便すぎるし少人数には少人数の良さがあると思うし合併には反対。▼少なくとも質の良い教育を目指せばよい。▼人数が減少すれば統合されるのは仕方ないが、(中学校と)同じ場所ということはプラス面、マイナス面があるのではないのか。▼1学級25名程度なら学級活動は可能であり、合併して広い校区での通学を無理することはない。▼課題は多いが良くなるように期待する。▼児童生徒数や学級数の減少を想定しすぎ。▼町としての人口増を図る施策はあるのか。▼合併して人数が増えることはいいと思うが、少人数制での教育を願う。▼この問題については小・中学生を持っている親の意見を大切にしてほしい。▼子どもたちのことを一番に考えて(2)。▼宇治田原町のような小さな町にしては、子どもたちの生活態度が良くないのでその点の改善を願う。▼多すぎる学級は指導に困難。少ない人数は目が行き届き工夫でユニークな教育ができる(2)。▼人数が少ない中でしっかりと指導してほしい。▼小学生に対する中学生のいたずら、もしくはそれ以上の犯罪的なことも心配。▼授業の成立・不成立は児童生徒数の問題ではない。▼少子化という後ろ向きでなく新名神開通に併せ緑苑坂などが人口増すること等、宇治田原の発展を前向き目標として小中一貫教育を考えるべき。▼早急に小中一貫教育にするべし。

▼我が1歳の子が小学生になる頃には、かなり少ない人数なので小中一貫校にはどちらかという賛成。同じ小学校から同じ中学校に行くのもいろいろな面でいいかも。余所から来て宇治田原町に住んでみて子どもを育てるのにとってもいい町と実感。この話の実現を期待している。▼用地買収や役所の移転のことなど考えると一貫教育は宇治田原町の今後を考えるとまだまだ議論が必要。今の宇治田原にはもっと大事な案件があるのではないのか。▼小・中学校で体育館やグラウンドなど同じ施設の使用は難しい。▼各学校別の特色があっても良いと思うので合併等は疑問。▼将来に夢の持てる教育を。▼小中一貫でなく中高一貫が理想の教育ができると思う。▼児童生徒数が減っても教育内容は低下させず、工夫や配慮でねらいが達成できるようにする必要がある。▼小・中学校を同じ場所にするのは災害時の避難等の協力体制が取りやすいが、それぞれの地域から遠ざかってしまう。▼中学生になるときの新しい気持ちや緊張感が大切と思うので小・中学校は分けた方が良いと思う。▼あくまで小・中学校は別課程であり、小学校から中学校に進学することで新たな意欲を創成する可能性がある。▼計画的に行うことは大切だが現時点での判断は難しい。▼これからの子どもたちがより良い環境で勉強できれば、場所とか合併とかを反対する意味は無い。思い出も大切だが未来の子どもたちのためにも変わっていくことも考えるべき。▼どんな学校にするにしても、トイレを洋式などを取り入れきれいに子どもが使えるものにしてほしい。▼人件費(コスト)だけで判断できない場合がある。▼どんな形態になろうと教え方の工夫が必要なのではないか。▼財政的にも効率的に運用でき、先生方の資質向上が期待できるのではないのか。

▼小規模校は小規模校で個々の指導が行き渡るので、小中一貫校にするより良いのではない。▼小・中学校では授業時間が違うのにどうするのか。一緒にするメリットが分からない。▼小学生の間は体力面からも徒歩通学が良く集団登校も異年齢の交流もでき高学年の責任感も培われる利点もある。統合すると通学面の心配点もあるし、高校の通学問題とともに親の負担が大変。▼仮に1クラスになれば同じ集団がずっと6年間又は9年間続き、問題が発生すれば大変。小学校を1つにすると地域にとって淋しい。▼今後子どもたちの数が減った場合は小学校を1つにしてもやむを得ないが、中学校の近くは止めてほしい。▼小学校は地域住民とのつながりが強く人数が減っても今のまま継続を(2)。

▼児童生徒数の関係でなく地域の学校規模に応じた教育内容を考えれば良い。地域の学校数が減少するところに地区の活性化は考えられない。小規模でも学校は存続させた方が良く思う。▼宇治田原町の地理的な事を考えると当分の間は今のままで良い。▼その時代時代に応じてやっていくのが良い。▼自分の経験で40人1クラスで今、生きているのが奇跡と思うくらいの大変ないじめがあった。2クラス以上ある方が良く思う。▼問われるのは有能な教員の確保と育成。▼未体験のことを想像だけで答えるのは無理がある。▼奥山田小学校を廃校にした功罪を教訓に。▼学校は地域のシンボルであり無くすのは良くない。奥山田小学校のように無くなれば地域の人の意識も低下し子どもたちの教育にも良くないと思う。▼小学校同士の交流を増す方向が良い。▼後世に借金することなくベストの方策を期待する。▼大規模改修が必要と思っていない。例えば少人数複数指導の学級で、きめ細かな教員体制を整えた町独自の教育を行うことで、他地域からの転入をねらうとか他の方法に税金を使う方が良い。▼小・中学校を別場所にするか同一場所にするかは児童生徒への影響が見えないので分からない。宇治市の小中一貫校の例などを挙げて詳しく説明がないと答えられない。▼校舎を建てる時は形ばかりでなく使い勝手が良く、耐用年数の長い建物にすべき。建設費が高いのに耐用年数が短すぎる。税収の少ない町は少ないなりに工夫すべきと思う。▼学校を減少させて住みやすい町か。児童生徒数が増加している地域もあると思う。▼学校は地域の大事な拠点。子どもの事は大事だが地域を豊かにすることで子どもの育つ環境も整う。学校は統合すべきではない。

▼小学校の改修に伴い小中一体型の一貫校にするのは早急すぎると思う。先進地の例のメリットやデメリットを知り住民意見も聞いてよく検討して結論を出してほしい。▼小学校1～6年までを同じに考えず、2小学校を無くしても例えば1～3は保育園と一緒に小学校に、4～6までは中学校にというようなことも良く思う。(建物がそれぞれ必要という考えを無くして経費の問題を少なくする。)▼今までの伝統と歴史を残しながら新しい時代に合った学校施設(教育環境)を。例えば小中一貫教育を踏まえた場合、校舎は別にして同じ場所にした方が良く思う。▼⑤⑥の回答は児童生徒数により変わる。小学校は合併しても存続できるが中学校は生徒数が減少すると中等教育ができない。

▼母校への思いはあるが町の財政が許されるなら1～9年生までの施設一体型を考えてはどうか。通学上の無理については手だてが必要。▼2小学校にはそれぞれ今までの地域の人の思いがあり、1つには難しいかもしれないし別が良いのかも。やはり1つにということなら小・中学校一緒に今の維孝館中学校の場所にしたら良い(2)。同じ場所・空間で生活して初めて小中一貫教育に思う。▼やるなら小中一貫教育と小学校合併を同時にすべきと思うが、3学校とも近年に新しくなったと思っている。どうして改修が必要なのか理解できない。▼小学校の合併は良いが小・中学校は新たな出会いや発見が必要なので別にするのが良い。▼学園構想の方向性、目標をはっきりして町も本気で取り組んでほしい(財政面も大きくなるので)。▼6年間交流無く中学校で出会うから、友達関係などで子どもたちに地域意識が出ると思う。▼多くの住民の母校というような事はあまり考えなくても良い。形ではなく思いだと感じる。(原文のまま)▼団塊の世代の自分たちは多人数でもまれ学び助け合って生きてきたので想像できず、現状が理解できない。▼合併で町内に1小学校となると、保育園から中学校まで変化が無く子どもたちの発展性に欠けるのではないか。▼同級生が同じ内容の教育を同一の場で大勢で学ぶのがベター。▼建物ばかり建てるより、今ある物を有効に活用してほしい。▼学力向上目的なら少人数教育、人間性向上目的なら多人数教育だと思う。▼少数の中で行き届いた教育を一人一人に力を入れる教育を、それも先生次第だと思う。▼「学園」という名称を使う一貫校は絶対反対。各学校名称は残した中で考えること。▼町教委として教職員人事に努力を。(指導力不足教員や養成教員の地にならぬよう。)

▼就学人口が減ればクラス統合は必然的だが学級としての最少人数の制限はあるのか。▼小・中学校が同じ場所だと小学生が早くから中学生の真似をして生活が乱れないか心配。▼小・中学校を同じ場所にしたとしても校舎は別に。▼ここまでの人数減少はショック。学校現場を改善していくことも大事だが、子どもの数を増やすため結婚した人が住みやすい環境対策も必要と思う。▼各校舎の建替えは耐震性や住民の避難座所としての使用も考え設計すべし。▼「学園」として大規模になるのは反対。小規模を生かす工夫は可能。▼現在の2小学校の交流を一層盛んにしてほしい。▼1学級の人数が40名のように余りに多いと教育も先生にとっても良くない。30名程度が良い。▼全ては先生方の指導による。

▼中学生の実態から人数面で小学校と合同にするのは学力、人間性の面で効果的とは思えない。▼小・中学校を同一場所にしても、通常生活は分けるべし。隣接が良いと思う。▼中学校入学への新たな気分や心構えの事や余りに小さい子と大きい子の発達の違いから、小学校の合併は良いとしても中学校は別の方が良いと思う。▼こんな小さな町で「いじめ」があった場合、町外への転校を余儀なくされる。▼小学校を合併した場合は今以上に「いじめ問題」などに注意を払ってほしい。▼9年間の小中一貫校でも、いじめ等のことを考えるとクラス替えは1年毎ぐらいに必要。▼母校が無くなることに抵抗がある人もあるかも知れないがねばり強くやってほしい。▼高校の建設の方が大切と思う。▼どんな形になっても児童生徒と家庭・地域(と学校)が、認識を密にすれば問題は無い。▼親任せの事にしてはならない。町全体として取り組むべき事。▼子どもたちの交流には同じ場所が良いが、現状の小・中学校の格差をどうつなぐか、一貫教育の目的や方向が左右。体制よりも方向性を大切に課題をクリアしてほしい。▼今までの6年教育が9年教育になる際の一貫性の確保、その間の新たな課題(落ちこぼれ等)の対応・解決等を十分に予見しておく必要。▼余り慌てずに時間をかけて検討してほしい。▼中高一貫と小中一貫では子どもたちにとっての負担が違う。一個の人格を意識する中高生と7歳児が同列化して存するのはいい結果が出るか疑問。▼情報化の時代、不必要な情報は勉強の妨げ、小学生は小学生らしく学ぶことを希望する。▼大規模な小学校より小規模の方が子どもたちがのびのびして良いのでは。

▼2小1中は守らねばならない。▼2小学校を合併したい思惑が感じられるアンケート。小学校を減らす方向は宇治田原町を「住みたい町」にする気がない、人の集まる町にする気がないと感じられ残念。▼このアンケートの意味があるのか。小中一貫教育推進の方向づけのアンケート内容。役人の責任逃れのアンケートで経費の無駄。▼少人数で2小の存続はコスト面で問題。1小にすると通学面の問題。人口増対策は検討されていると思うが、工業団地があるのに増加が見込めないのは残念。▼今の子どもたちには学力向上だけでなく、「あいさつ」「人にやさしく」など人として成長できる教育を。▼子どもたちの減少の現状からは統合の考えも出てくると思う。高校への通学の問題もあるのでは。

▼9年間の学習の継続性からは小中連携が必要だが、児童の側からすると中学校という新たな環境で心機一転という心情面がある。施設面と子どもたちの成長面を考え、どれが最善か、大勢を納得させられるかがポイント。町がハード面の予算に手厚いことは感じている。ソフト面(教師人事等)も期待。▼施設一体型に魅力を。小・中学校だけを考えるのではなく、町全体を見て老人施設や学校と町民の集える施設や学校、病院、商業施設、父母が安心して働ける保育所や放課後の施設等併設し、町の特色として町外からの人口導入も視野に町の活性化を図り、雇用の増強も生む未来型都市に。▼1学級の人数は多少によってどちらもメリットやデメリットがある。小・中学校を一緒にするメリットが分からない。小学校の統合も場所を問わず距離や道路状況、環境等、通学が問題となる。奥山田小学校はもっと少なかったはずでは。▼まだ児童生徒数も学年1クラスできる人数。第二名神高速の建設も決まり、町の人口を増やす政策と住みたいと思われる環境づくりを町民挙げて考えていきたい。▼小・中学校は防災上の拠点、避難時はどうするか。経済的、人的資源活用としては同一場所が良いのだろうが、思春期の中学生のマイナス的な姿があったとき小学生に波及しないか心配。美術や音楽等は中学校の専科教員が教えるのに賛成。▼児童生徒数の考え方がネガティブ過ぎる。新名神、東京五輪、デフレ脱却の政策強化により上向き、地価が上がると人口は上昇すると思う。人口減ありきの教育施策は早とちりになりかねないのでは。

▼①～⑥に関して現状と課題、解決等を示して町民全体で考えようというのが推進協議会ではないのか。迫りくる時間等に追われるのは分かるが、教育は「どうあるべきか」であると思う。▼先ず少子化対策が重要で学校の統廃合はできるだけ避けるべき。「多すぎる、少なすぎる」は数字を上げるべき。▼小学校6年間、組替えのない1学級の経験から刺激が無いという以外は一体感が強くなりよく理解し合える等メリットも多かった。通学面の問題もあり小学校の合併は賛成できない。▼様々な点で欠点の多い一体型は反対。小・中学校の教職員の意見も恐らく一体型の問題点が多いはず。その声も知らせる必要がある。

▼①～④は意味不明、⑤⑥は町教委の考えの誘導質問では、愛する田原を担う子どもたちに宇治田原にしかできない教育を目指してほしい。▼町内に散在している2小を、このままでの存続は不可能。合併するには低学年児童の通学や安全面に不安で手段が必要。▼現行の教育内容で本当に良くないのか、しっかりと考えているのか。教育方針を具体的に示して統合や一貫教育の必要性を検討すべき。大人の都合や金銭の問題で進めるべきでない。▼科目勉強の点では少人数で可能。集団の中で身に付ける学習もあり極端な少人数は良くない。学習や集団活動を通して子どもたちの人格の成長を図ることが大切と思うので、一貫教育も大切だが先生の質の向上も重要。▼小・中学校の建設問題と併せ、高等学校の設置、専門高等学校や大学の一学部の誘致など、宇治田原町の教育ゾーンとしての構想を。▼教育的には小中一貫校に賛成だが、人間関係が心配点あり。社会性や人間性、道徳性を重視した教育を。また、運動会や文化祭などは小・中学校別の方が子どもたち一人一人が生き生きと力を発揮できると思う。

▼何らかの理由で学校に来れなくなったりつまずいた子どもも、また、登校したりクラスで一緒に勉強できるようフォローする指導やそのための場所も確保してほしい。▼現状の子どもたちはゲームやテレビばかりでだらけ、ゲームの質もエスカレート。子どもたちの質が下がる一方。土曜授業を行ってほしい。▼③～⑥については行政が責任を持つもの。教育委員会だけでなく議会等で議論決定をすべきもの。また、アンケート結果の報告、公表が義務・責務。▼校舎はあくまで設備に過ぎない。少子化の中、設備費をできる限り押さえるための統合が望ましい。費用のゆとりがあれば子育て世代が流入してくる工夫や助成をすれば良い。

▼未来的に考えて施設はバラバラとするより集中的にした方がグレード高くでき、通学(各自が公的送迎か)も一手の方が良い。人口はこのままでは増えないと思うし、小学校をまとめるかどうかより、将来、小・中学校が要るのかさえ疑問。▼通学は体力作りにとっても重要。一つの小学校になるなら子どもたちが歩いていける距離のところにしてほしい。小・中学校が一緒になることのメリットは異年齢による関わり・交流の新鮮さと刺激。デメリットは時に良くない姿を見せる中学生と早くから関わることで小学生(高学年)への影響。クラブ活動は小学生から入ることで活発になる。特に英語学習については入りやすい低学年から楽しい学習をどんどん入れていくべき。6年間で英語の耳は作れる。中学校での詰め込み英語で嫌にならないよう、小中一貫にすれば簡単な文法やアルファベット習得はできるし、会話も9年間のうちに「英語人」を育てることができる。維孝館中の現状にはなんだか不安があるが、この小中一貫教育が底上げ、もしくは子どもたちの意欲を向上するきっかけになるのではないかと思う。▼子どもたちに好条件を与えるのではなく時代の流れに適応できる人間性の向上が大切。▼中学校の授業改善のためにも小学校の様子が見に行きやすい同一場所が良い。▼中学校に入った途端家庭学習が減り学力が低下すると言うことを聞くが、町内の小中一貫教育を進めるとともに他市町村との交流や刺激を入れぬるま湯的環境を打破して学力向上を。安心して通わせられる中学校に。▼小中一貫教育で同一校地内に小・中学校を設置する場合、小学校でも6年生など上級生を見て良い目標とするぐらい問題行動が少ないことが前提。今は良い人材を育成・確保して町を挙げて学校教育をサポートする気運を作ることが先ではないか。

▼小学校は徒歩で通学できるのが理想だが、1クラスになると今まで以上にまわれることなく高校で急に生活が激変する。小学校同士の交流や中学校は他市町の中学校との交流で外との関係を作ってほしい。また、新しい方が転入しやすいそして地元の若い子が転出したくない魅力ある町づくりが必要と思う。▼先輩、後輩の関係ができるので一体がよいが、(バラバラの)子どもたちは嫌かも。自分ができるとは周りの人にしてあげられる人を育てる教育を。▼子どもたちが増えないという考えは力不足。教育環境が他所より優れていれば人口増は可能。受け入れる土地は未だあるし、教育施設の充実こそ人口増加(若手層の)対策として必要。親の通勤が不便でも子どもの教育環境が優良なら転入する人は大勢居ると思う。宇治田原町を近畿有数の教育町にすることが必要。通学手段が確保できれば町内一つの学校で施設の充実も可能。小さい町だからこそ英知を結集すればできると思うし町政も安定する。▼児童生徒数のみの合併以前に教育(内容)と保護者の指導も併せて、学校の在り方を考えないと、6年のまとめも芳しくないのに9年間は到底無理がある。▼このアンケートの問いは、近い将来確実に児童生徒が減少すると思っているようだが、増やそうという考えはないのか。▼1つにするのに賛成だが予算的に問題ないか疑問。また、スクールバスの運行があるのか心配。児童生徒数のマイナス現象面ばかりでなく町教委は子どもを生む世代等への魅力ある町づくりの視点で教育を進めるべき。学校現場においては教職員の指導力の向上も大切なこと。▼一人一人の個性を活かした指導と何をしたいのかを見極めさせる指導により子どもたちが目標に向かって努力し、その成果に喜びを感じチャレンジ精神を養うことが向上につながるのではないか。子どもの教育と併せて教育者の指導も必要。日本の将来を担う子どもたちの教育を背負う重責を自覚すること、それが求められる。

▼小学校は1～6と小学校の役割、中学校は思春期の難しい時期をきめ細やかな指導が必要。小・中学校の連携や交流など今までのようではないか。中1ギャップはあってもいいのでは。宇治田原の田舎から高校は外に出て行かなくてはならないので、いろんな思いの経験が必要。小中一貫、小学校合併より少人数でも目の行き届いた教育、学力が必要。子どもの目線で「子どもにとって本当に必要なこと」を考えて。このアンケートの各意見は「町民の窓」など町民誰もがみられる紙面での公開を希望する。 ▼教育委員の在り方について。 ▼維中の改革を。

▼人口の増加を図る手段は残されている。教育町としての町ぐるみの支援がその成否を分かち。町民の理解と支援を得られるなら日本一の教育町となることも可能。私学に負けない内容が必要。小・中学校のみの教育を充実しようとしても高校は遠方地まで出なければならぬ現状では不可能。一貫教育は小・中・高の教育が必要。現人口にかかわらず高校誘致が必要。さらに小中高大の私学を誘致し町の管理下として町民は選抜なしで入学させるぐらいの大胆な発想で日本一の教育町に。 ▼子どもの減少は宇治田原だけの問題ではない。人数の多少についてはメリットもデメリットもあるし、要は教える側の問題で少ないから即合併は拙速。どんな環境でも学力充実(保障)は当然として強く逞しい人間を育ててほしい。今後、親の過剰な批判・攻撃やスマホなどIT、情報の拡大、子どもたちの生活環境・等現場の先生だけでは対処しきれない問題も発生してくる。担任(学校)任せにするのではなく、地域の多様な人材を事象に合わせて活用した、学校サポート体制を整えることを提案したい。

▼子どもも含め若い力を借りて町民の各層一緒になって、若い人たちが老人が子供が住みやすい町にする方法を考える。高齢化、少子化する町の未来について一部の人で考えずに、できるだけ多くの人に意見を求め集約し分類し明確化することで見えてくるものが大切。そういうアンケートをを基にして将来の町づくりを進めていくべきではないか。 ▼3校は別々にして社会のような厳しい競争を意識させるべき。 ▼まとめるからこんな教育に、別の場所だからこうというのではなく、町の今後の教育の場をどう作っていくかのしっかりしたプランで決まってくるものと思う。 ▼なぜ人口減少ばかりで論じるのか。国の政策転換により人口増、児童増もあるのではないか。小中一貫教育実施のアンケートなど実施すべきでない。一部の市町で小中一貫教育は中1ギャップ、不登校対策に良いと論じているが、子どもの成長からすれば逆効果。中1ギャップが解消しても高1ギャップ、大1ギャップはどうするか。不登校は体育祭や文化祭を疎ましく思うからとの意見もある。小中併設にすればいじめや非行が小学生に拡散するのでは。小中一貫教育は日本の国情に合わない愚策。小学生、中学生はそれぞれらしく従来通りの教育を。全体の学力向上や社会への対応力等の育成を願うなら、少人数指導や補助教員加配等の施策を優先させるべき。

▼小中一貫教育推進のアンケートは良いが具体的にどんな教育が展開できるかのイメージが捉えにくい。小中一貫の狙いに中1ギャップの戸惑いや不安の解消とあるが、それがどんなもので解消に一貫教育がどうつながるのか、また、現在の小・中学校の教育の課題とその解決のための小中一貫教育の必要性の説明もほしい。これまでの小中の合同活動や中学教員の出前授業等は大変意義あることだが、それを「学園構想」にまで広げ教育課程の強固な連携まで行う必要性について、メリット、デメリットを挙げた説明がほしい。児童生徒の減少は憂慮すべき事で、町内の若い人たちの流出と過疎・高齢化を阻止するには住み良い魅力ある町づくりが根本。小中一貫教育は単に教育上だけでなく、「住みたい、住んで良かった」と思える将来の町づくりのための課題として他の様々な重要施策とともに検討されるべき。2小学校とも各学年20名未満なら仕方ないかとも思うが、町内1小学校に統合する時、遠距離の子ども達はスクールバスとなれば、登下校時の徒歩による運動やふるさとの自然の中の観察やふれ合いの体験等、今の子ども達に少なくなっている貴重な経験が一層減ってしまう。できれば2小学校を存続して今後もそれぞれ特色ある学校教育を展開してほしい。

教職員

▼小中一貫校で学び卒業後、町から出た時に子どもたちが直面するギャップが気になる。 ▼1学級の児童生徒数が多いのは良くないが、少ないのは良くないとは思わない。 ▼しっかりと議論し、オープンな議論が必要である。 ▼敷地や通学方法等難問が多く、見通しが分からず回答が難しい。 ▼1クラスの人数は少ない方が子どもにとってはいいと思うし、担任もゆとりが持てる。 ▼小・中学校を同じ場所ににしても、校舎やグラウンドなどは別が良い。 ▼同じ施設にした場合、グラウンドの十分な確保はできるのか疑問。 ▼保護者の立場からすると家から近くて安全な場所が良いと思う。 ▼小学校は極端に減少すれば1校でも良いのでは。小・中学校は別にした方が良い。